

平成19年3月期
中間決算説明資料

大村紙業株式会社

目次

■ 会社概要	・・・ 3
■ 事業の状況	・・・ 4
■ 業績概要	・・・ 5
■ 売上高および経常利益推移	・・・ 9
■ 品種別売上構成比	・・・ 10
■ 今後の見通し	・・・ 11
■ 売上高および経常利益の見通し	・・・ 12
■ 品種別売上高の見通し	・・・ 13
■ 免責事項	・・・ 17

会社概要

- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本社所在地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売・副資材商品の販売
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・群馬・千葉・レーベル群馬
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況

- 当業界におきましては、原紙価格の高騰が維持されたままとなり、また、主原料の加工機械に使用の重油の価格についても同じく高騰が維持され、価格の低下もなく非常に厳しい状況になりました。
- 当社は「採算重視」の方向を強く打ち出し全社一丸となり、原紙のコストアップ以上の経費見直しを努めてまいりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート27百万 m^2 （前期比8.2%減）、段ボールケース17百万 m^2 （前期比7.9%減）となりました。
- 売上高は2,269百万円（前期比3.8%減）となりました。また、利益面は経常利益142百万円（前期比15.4%減）、当期純利益78百万円（前期比16.2%減）となりました。

平成19年3月期 業績概要

(単位:千円)

	前年上期	当期上期	前年同期比
売上高	2,357,819	2,269,041	88,778
売上原価	1,635,209	1,599,534	35,674
販売費及び一般管理費	552,591	530,543	22,048
営業利益	170,018	138,964	31,054
経常利益	168,063	142,140	25,922
中間純利益	93,189	78,121	15,067

売上高:前期比3.8%減、経常利益:前期比15.4%減、当期純利益:前期比16.2%減となりました。
原紙のコストアップ以上の経費見直しを努めてまいりました。

平成19年3月期 業績概要

(単位:千円)

	前中間期末 (平成17年年9月30日)	当中間期末 (平成18年年9月30日)	前年同期比
現金及び預金	1,437,547	1,358,139	79,407
受取手形	605,407	554,377	51,030
売掛金	652,743	743,030	90,287
たな卸資産	197,785	199,624	1,838
その他	78,136	76,908	1,228
貸倒引当金	10,065	7,788	2,277
流動資産	2,961,555	2,924,292	37,262
有形固定資産	1,877,373	1,871,071	6,301
無形固定資産	20,064	21,703	1,639
投資その他の資産	289,546	293,982	4,436
固定資産	2,186,983	2,186,757	226
資産合計	5,148,538	5,111,049	37,489

平成19年3月期 業績概要

(単位:千円)

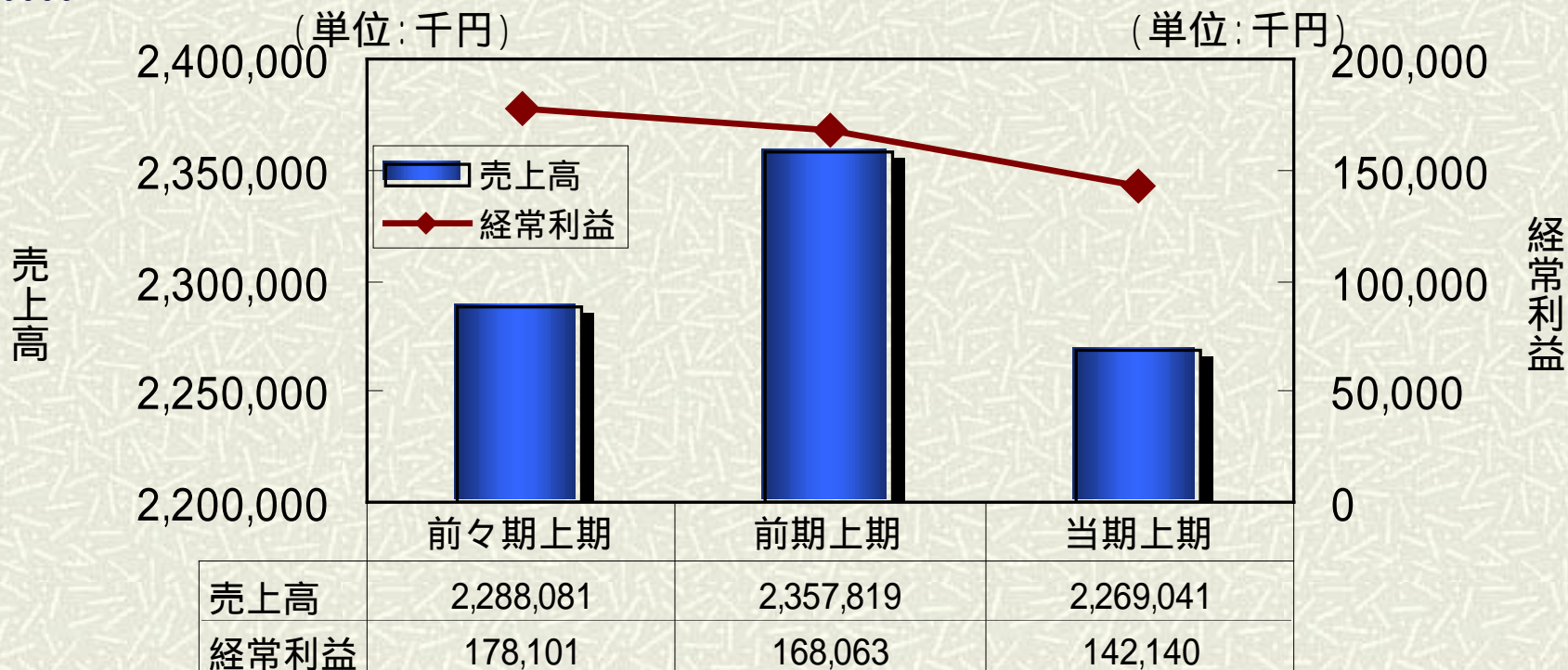
	前中間期末 (平成17年9月30日)	当中間期末 (平成18年9月30日)	前年同期比
支払手形	808,810	697,277	111,532
買掛金	168,216	191,193	22,976
未払法人税等	86,672	62,514	24,158
その他	214,391	209,377	5,014
流動負債	1,278,090	1,160,361	117,728
固定負債	417,628	417,099	528
負債合計	1,695,719	1,577,461	118,257
資本合計	3,452,819	-	3,452,819
負債資本合計	5,148,538	-	5,148,538
資本合計	-	3,533,588	3,533,588
負債資本合計	-	5,111,049	5,111,049

平成19年3月期 業績概要

(単位:千円)

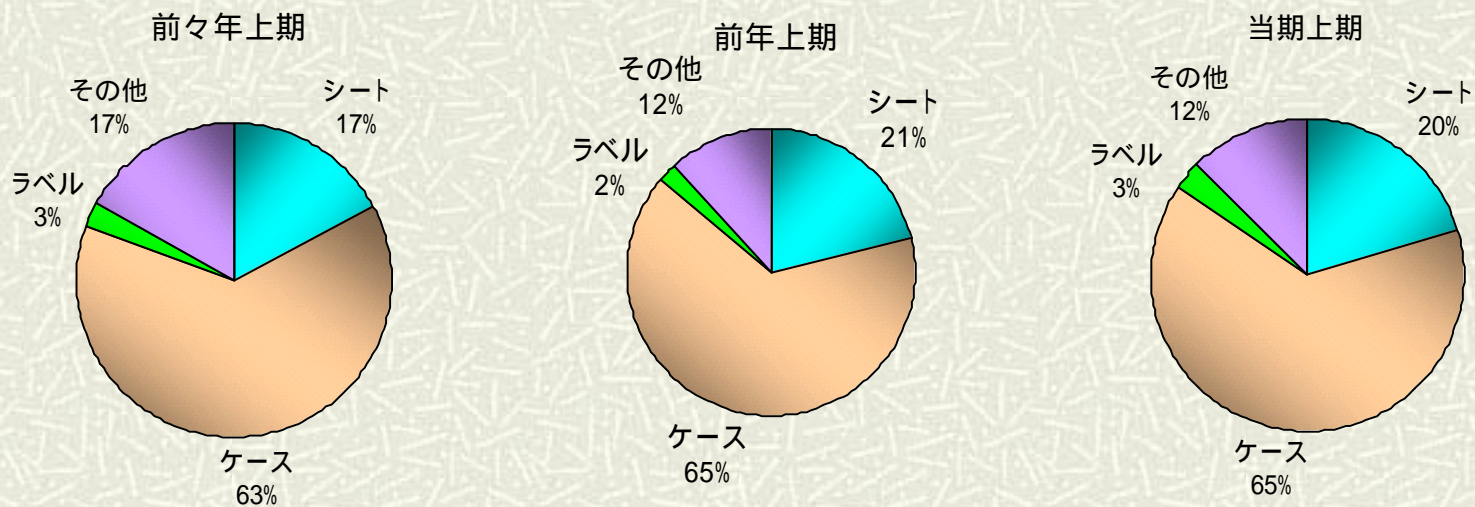
	前年上期	当期上期	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	105,845	63,881	169,727
投資活動による キャッシュ・フロー	81,290	10,178	71,112
財務活動による キャッシュ・フロー	65,164	68,221	3,056
増減額(減少:)	40,609	142,281	101,672
現金及び現金同等物の 期首残高	1,452,104	1,471,483	19,379
現金及び現金同等物の 期末残高	1,411,495	1,329,202	82,292

売上高および経常利益推移



当社の段ボールは、業種に関係なく利用されております。例年は上期より下期に需要が多い状態が続いております。前期に関しましては、わが国経済の景気が踊り場からの脱出し回復傾向にもおされ上期増・下期減となっております。

品種別売上構成比

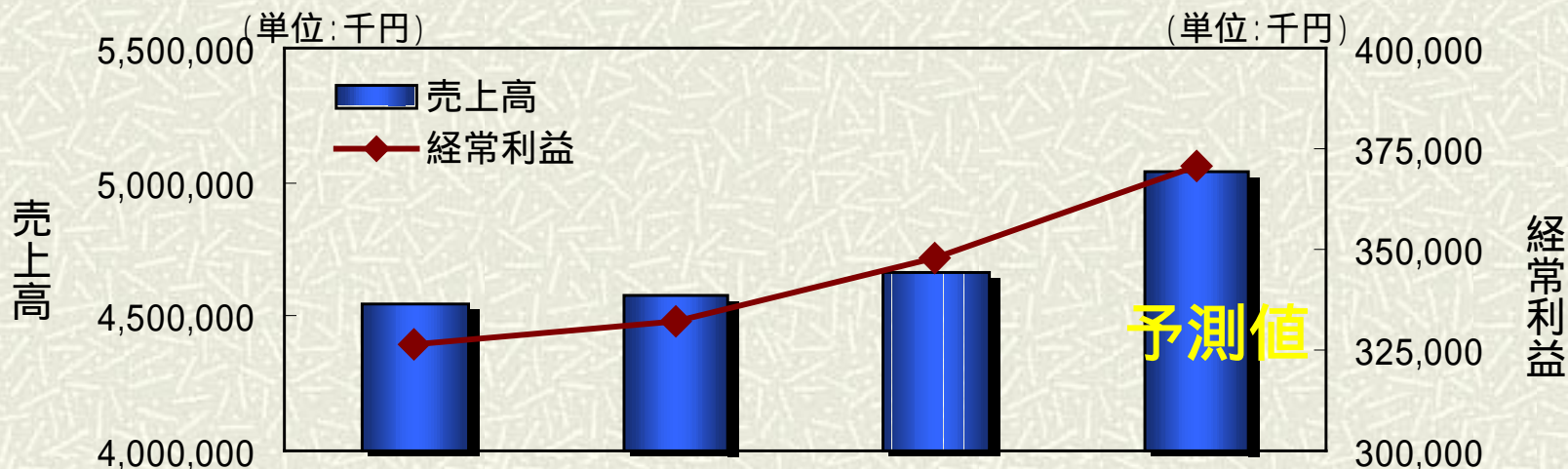


	前々年上期	前年上期	当期上期
シート	392,343	494,845	463,049
ケース	1,451,909	1,535,305	1,453,992
ラベル	58,015	55,445	69,812
その他	385,813	272,223	282,187

今後の見通し

- 原紙・重油などの価格高騰によるコストアップにより利益圧迫する要因も見込まれます。
- コストアップの対応としては、今まで以上に費用に対するコスト意識を持ち、全社においてコストダウンを図ってまいります。
- 販売面は、採算性を重視し販売価格の見直しを図ってまいります。
- 通期業績予想につきましては、前回発表時と変更はなく売上高5,039百万円（前期比7.9%増）、経常利益370百万円（前期比6.3%増）、当期純利益200百万円（前期比5.0%増）を見込んでおります。

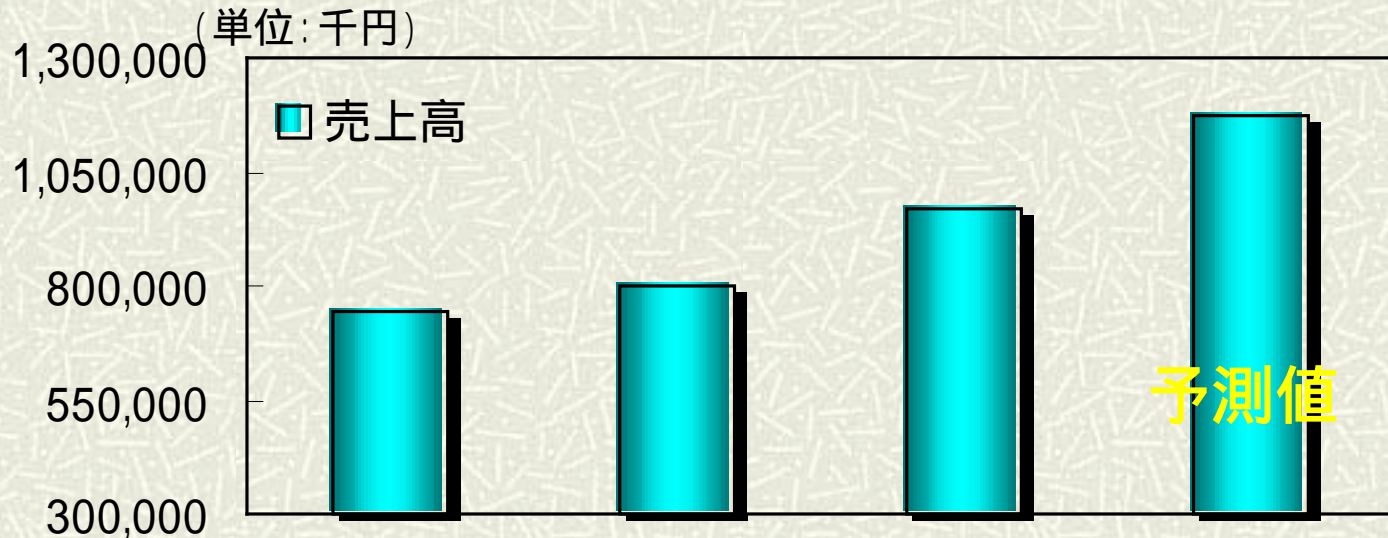
売上高および経常利益の見通し



前回発表時と変更はなく売上高5,039百万円(前期比7.9%増)、経常利益370百万円(前期比6.3%増)、当期純利益200百万円(前期比5.0%増)の見込み。

品種別売上高の見通しは次ページ以降をご参照ください。

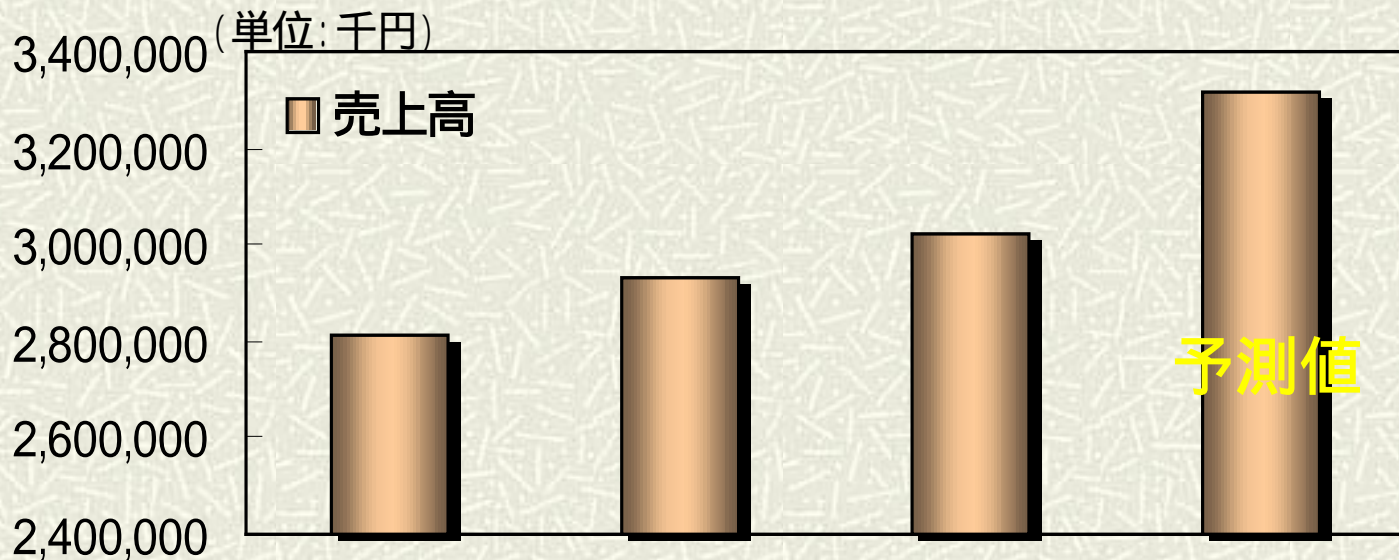
品種別売上高(シート)の見通し



	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期 予測
売上高	743,604	802,768	968,188	1,172,539

前回発表時と変更はなく売上高1,172百万円(前期比21.1%増)の見込み。

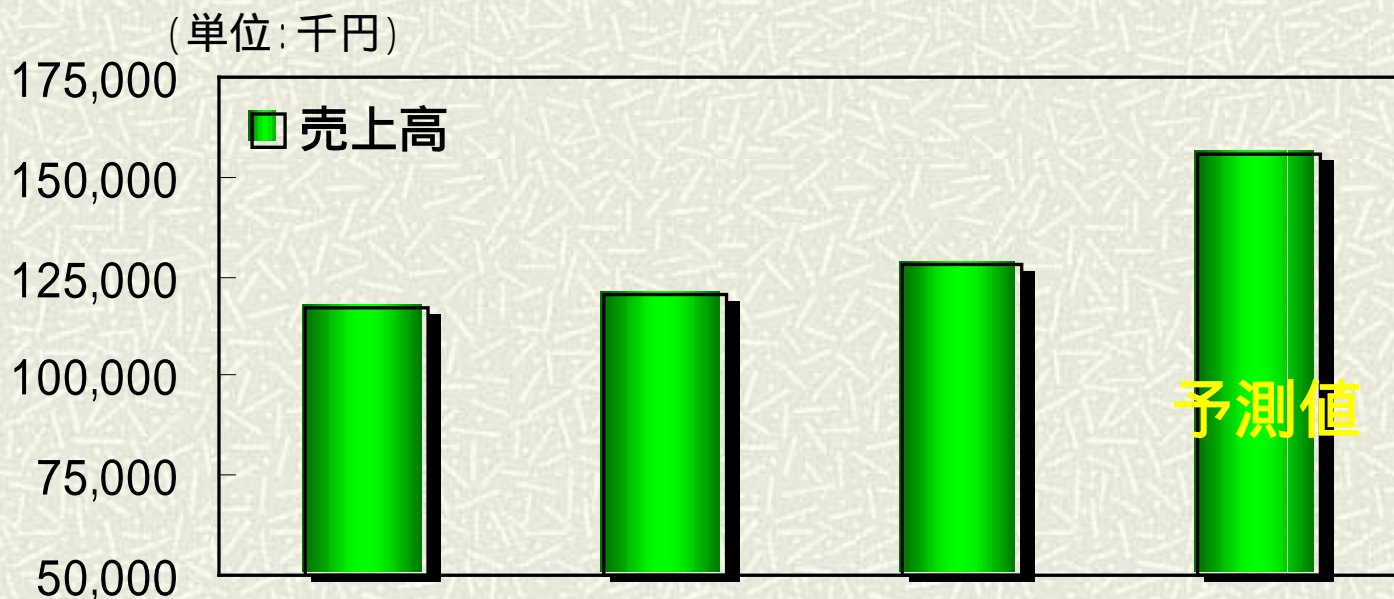
品種別売上高(ケース)の見通し



	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期 予測
売上高	2,811,627	2,929,921	3,023,777	3,316,837

前回発表時と変更はなく売上高3,316百万円(前期比9.7%増)の見込み。

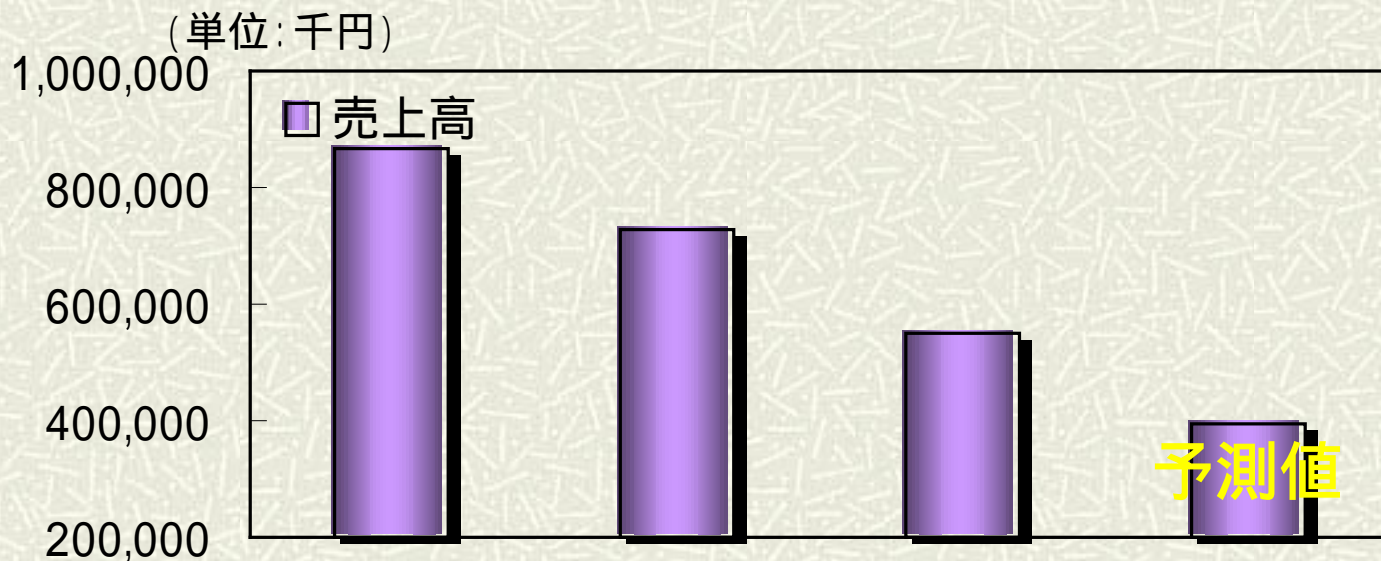
品種別売上高(ラベル)の見通し



	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期 予測
売上高	116,775	120,791	128,432	155,704

前回発表時と変更はなく売上高155百万円(前期比21.2%増)の見込み。

品種別売上高(その他)の見通し



	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期 予測
売上高	869,290	730,087	548,326	394,082

前回発表時と変更はなく売上高394百万円(前期比28.1%減)の見込み。

免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。